

芸術学部美術学科

関根 浩子

Hiroko Sekine

美術学科 教授

専門分野

西洋（イタリア）美術・文化史
日本近代美術・文化史

所属学会・団体

美術史学会
地中海学会
九州藝術学会
筑波大学美術史学会
日伊協会
国際ロータリー財団第 2770 地区（埼玉）学友

美術史の基本は根気強いフィールド・ワークと史・資料収集、分析、理論化にある。美術史家の使命は、これらを通して視覚芸術である「美術」や「文化」、「人間」の歴史を明らかにし、伝えてゆくことにある。

理論的研究にも作品制作にも近道などありません。バケツに空いた無数の穴を一つ一つ埋めながら水を汲むような努力を重ねて初めて専門分野において人並みの仕事をする準備ができるのです。しかし昨今では即戦力が求められているのも事実です。ですから、専門基礎科目によって芸術の通史を学ぶとともに、コース独自のカリキュラムによって、学部の学生のうちに、あるいは大学院の学生のうちに、より高度な専門的知識や問題解決力、論理的思考や記述力、プレゼンテーション力等を身に付けて自信をもって社会に出ていきましょう！

PROFILE / RESEARCH ACTIVITIES

担当科目

学 部：美術史基礎演習Ⅰ／西洋彫刻論／西洋美術史特論Ⅰ,Ⅱ／芸術学演習Ⅱ／芸術文化演習Ⅰ～Ⅳ／宗教芸術・文化Ⅰ(ヨーロッパ・日本)
 地域文化特論／特別演習／学外演習／卒業研究
 大学院：美学・芸術学特論／西洋美術史特論／修了研究演習／芸術学研究／芸術学演習
 その他：博物館実習

主な企画展／図録編集・執筆

1989/10～1989/11 「開館記念菱田春草展—空間表現の追究」(特別展)企画開催 図録編集・執筆 飯田市美術博物館
 1990/04～1990/05 「菱田春草春季展—春草と菱田家—前期」(春季平常展) 企画開催 飯田市美術博物館
 1990/11～1990/12 「菱田春草秋季展—春草と菱田家—後期」(秋季平常展) 企画開催 飯田市美術博物館
 1991/10～1991/11 「春草没後80周年記念 天心傘下の巨匠たち—初期作品を中心に」(特別展) 企画開催 図録編集・執筆 飯田市美術博物館 ほか

主な調査・研究活動

論文・その他

1990～91 春草作品にみられる古画の要素 (中間報告)(後半報告)(単著)
 1997/03 16世紀前半のイタリアにおけるテューラー版画の受容 (単著)
 2002/03 トスカーナ管区サン・ヴィヴァルドの「エルサレム」—地形模倣的巡礼施設からサクロ・モンテへ (単著)
 2003/03 14世紀以前の西欧における「エルサレム」の模造建築 (単著)
 2005～06 フラ・ベルナルディーノ・カイエミの「代用エルサレム」—ヴァラツコのサクロ・モンテの失われた初期の形態について(上)(下) (単著)
 2007/03 イタリアのサクロ・モンテ研究小史 (単著)
 2011/03 トレント公会議後のイタリアのサクロ・モンテの展開—その多様な形態の類型化に関する一試論 (単著)
 2014/03 日本における模造ルルド発生考—パリ外国宣教会の日本における再布教との関係から— (単著) ほか

翻訳

1996/04 『カーサ・ブオナローティ所蔵ミケランジェロ展』図録 富士美術館 (分担訳)
 2001/03 『イタリア・ルネサンス—宮廷と都市の文化展』図録 国立西洋美術館 (分担訳)
 2013～15 「アメデ・テータルト・ドウ・ゼデルヘム著 十字架の道行信心の史的概観」(1)(2)(3) (単訳・継続中) ほか

科研費研究

2015～17 「ヴァラツコのサクロ・モンテの最初期の彩色木彫考」(単独)(開始中)



開館記念菱田春草展図録 (1989年)



春草没後80周年記念展図録 (1991年)



春草没後80周年記念展オープニング (1991年)



ポントルモとテューラーの版画、イタリアの版画家たちに関する研究(1995～96年) 上：テューラーとニコレット・ダ・モデナの《四人の魔女》、右：ポントルモ《マリアのエリサベツ訪問》拙稿掲載図版より



ATLAS (2005年4月号) 掲載の論文概要



地方紙 IL MONFERRATO掲載記事 (2003年1月)



調査の際にお世話になったピエモンテ州サクロ・モンテ・ディ・クレア自然公園資料センター所長と所員 (2003年調査時撮影)



サクロ・モンテ・ディ・ヴァラツコの神殿の広場(上)と修復後の第40堂(《磔刑》の礼拝堂)のガウデンツィオ・フェッラーリ制作の彫刻と壁画 (1520～28年頃)(2010年撮影)(何度も訪問)



下五島 現在のカトリック井持浦教会堂(左)と明治32年築造の日本最初の模造ルルド(右)(2011年4月調査・撮影)



名古屋 現在のカトリック主税町教会堂(左)と明治42年築造の模造ルルド調査(右)(2014年5月調査・撮影)

